

栗東市子ども・若者に関する アンケート調査 結果報告書 <概要版>

令和8（2026）年3月
栗東市

(1) 調査の目的	本調査は、栗東市における市町村こども計画策定に向け、現状の把握及び意見表明の機会を設けることを目的に実施しました。																						
(2) 調査対象	【小学5年生とその保護者】市内に在住する小学5年生およびその保護者 【中学2年生とその保護者】市内に在住する中学2年生およびその保護者 【15～39歳】市内に在住する15～39歳の市民から無作為抽出																						
(3) 調査期間	令和7年11月4日（火）～令和7年11月25日（火）																						
(4) 調査方法	【小学5年生・中学2年生およびその保護者】 学校による配布、郵送・Webによる回答 【15～39歳】郵送による依頼、Webによる回答																						
(5) 依頼数及び有効回答数、回答率	<table border="1"><thead><tr><th>調査対象</th><th>依頼数</th><th>有効回答数</th><th>有効回答率</th></tr></thead><tbody><tr><td>小学5年生</td><td rowspan="2">747件</td><td>347件</td><td>46.5%</td></tr><tr><td>小学5年生の保護者</td><td>353件</td><td>47.3%</td></tr><tr><td>中学2年生</td><td rowspan="2">735件</td><td>283件</td><td>38.5%</td></tr><tr><td>中学2年生の保護者</td><td>313件</td><td>42.6%</td></tr><tr><td>15～39歳</td><td>2,000件</td><td>490件</td><td>24.5%</td></tr></tbody></table>	調査対象	依頼数	有効回答数	有効回答率	小学5年生	747件	347件	46.5%	小学5年生の保護者	353件	47.3%	中学2年生	735件	283件	38.5%	中学2年生の保護者	313件	42.6%	15～39歳	2,000件	490件	24.5%
調査対象	依頼数	有効回答数	有効回答率																				
小学5年生	747件	347件	46.5%																				
小学5年生の保護者		353件	47.3%																				
中学2年生	735件	283件	38.5%																				
中学2年生の保護者		313件	42.6%																				
15～39歳	2,000件	490件	24.5%																				
(6) 調査結果の表示方法	回答は「n(=number)」を母数として百分率(%)で示しています。小数点第2位を四捨五入しているため合計が100.0%とならない場合があります。 棒グラフに表示された(3LA)は「複数回答3つまで」、(MA)は「複数回答」であることを示しています。 不明(無回答)はグラフから除いている場合があります。 クロス集計表は、 上位1位 、 上位2位 に色付けし、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けています。																						

1. 子どもの生活状況アンケート（小学5年生、中学2年生の保護者）

(1) 世帯収入と等価可処分所得

- 世帯収入の回答結果から世帯年収の分布状況を算出し、等価可処分所得として3区分に分類しました。等価可処分所得「中央値の2分の1未満」が相対的貧困とされています。
- 等価可処分所得の状況では、「中央値以上」が48.5%で最も多く、次いで「中央値の2分の1以上中央値未満」が39.3%、「中央値の2分の1未満」が9.2%となっています。

【世帯年収】

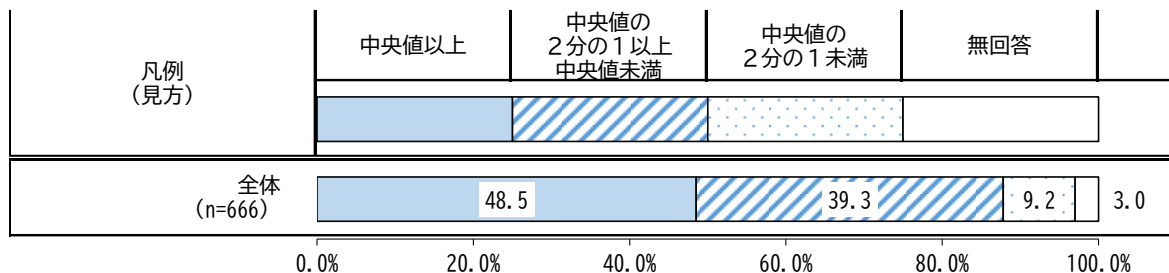
単位：%

	母数 (n)	世帯年収								
		1 5 0 0 0 0 万 円 未 満	1 1 5 0 0 0 万 円 未 満	2 1 0 5 0 0 万 円 未 満	2 2 5 0 0 0 万 円 未 満	3 2 0 5 0 0 万 円 未 満	3 3 5 0 0 0 万 円 未 満	4 3 0 5 0 0 万 円 未 満	4 4 5 0 0 0 万 円 未 満	
全体	666	0.3	0.6	1.1	2.6	1.5	1.7	4.2	3.2	
別 学も子 年 のど	小学5年生	353	0.3	0.3	1.4	2.8	1.4	2.0	4.0	3.1
	中学2年生	313	0.3	1.0	0.6	2.2	1.6	1.3	4.5	3.2
状 保 況 護 別 婚 の 者 の	小学5年生 ひとり親	336	-	0.3	0.6	1.2	0.9	1.5	3.9	3.3
	ひとり親	16	6.3	-	△ 18.8	△ 37.5	△ 12.5	△ 12.5	6.3	-
	中学2年生 ひとり親	290	-	0.3	0.3	1.0	0.3	1.0	4.1	3.4
	ひとり親	23	4.3	8.7	4.3	△ 17.4	△ 17.4	4.3	8.7	-

単位：%

	母数 (n)	世帯年収								
		5 4 0 5 0 0 万 円 未 満	6 5 0 0 0 0 万 円 未 満	7 6 0 0 0 0 万 円 未 満	8 7 0 0 0 0 万 円 未 満	9 8 0 0 0 0 万 円 未 満	満 1 9 0 0 0 0 万 円 未 満	上 1 0 0 0 0 0 万 円 以 上	無 回 答	
全体	666	6.0	12.0	12.9	10.5	12.2	11.3	17.6	2.6	
別 学も子 年 のど	小学5年生	353	5.1	12.7	11.0	11.6	15.0	10.5	15.6	3.1
	中学2年生	313	7.0	11.2	15.0	9.3	8.9	12.1	19.8	1.9
状 保 況 護 別 婚 の 者 の	小学5年生 ひとり親	336	4.8	13.4	11.6	12.2	15.8	11.0	16.4	3.3
	ひとり親	16	6.3	-	-	-	-	-	-	-
	中学2年生 ひとり親	290	7.2	11.7	15.2	10.0	9.3	12.4	21.4	2.1
	ひとり親	23	4.3	4.3	13.0	-	4.3	8.7	-	-

【等価可処分所得】



【等価可処分所得の算出方法】

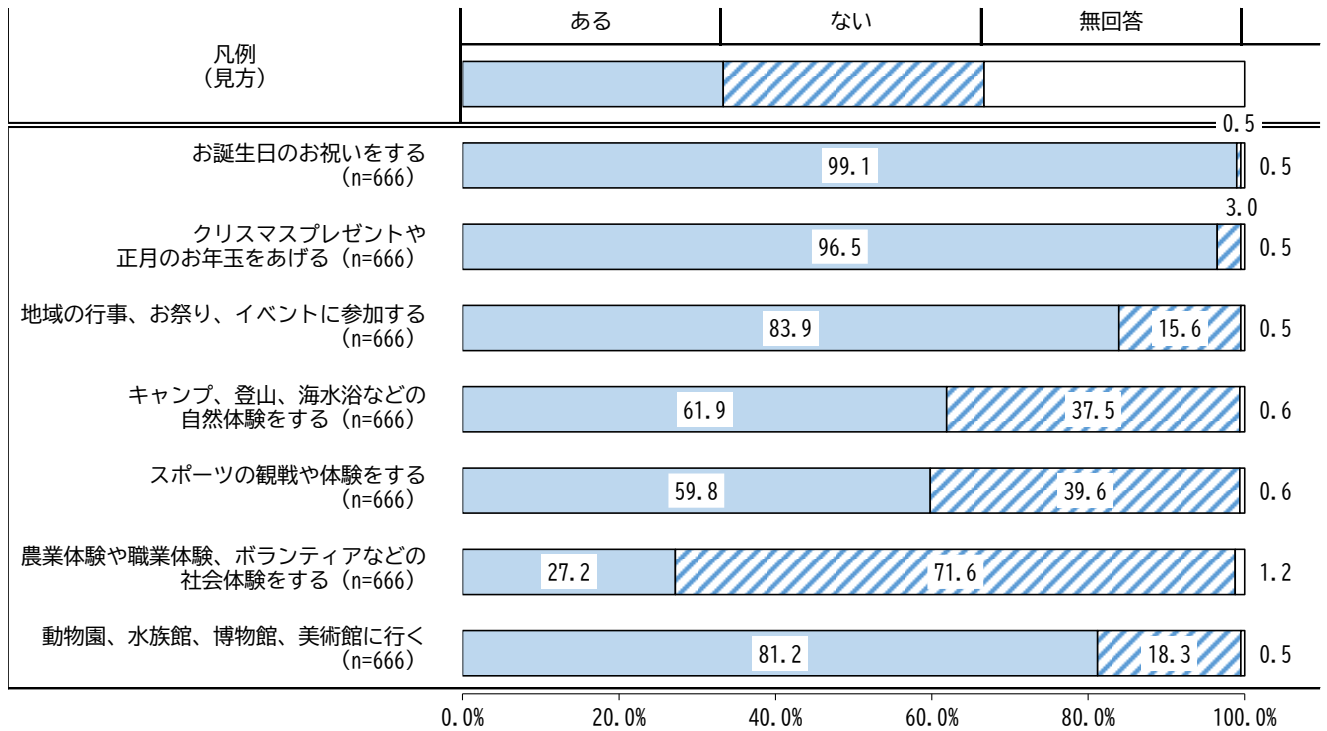
- 年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする（例えば、「50～100万円未満」であれば75万円とする。なお、「1000万円以上」は1050万円とする。）
- 上記の値を家族の人数の平方根をとったもので割る。
- 上記の方法で算出した値（等価可処分所得）の中央値を求め、さらに、その2分の1未満であるか否かで分類する。

(2) 子どもの体験機会について

問 お子さんと次のことをすることがありますか。(単数回答)

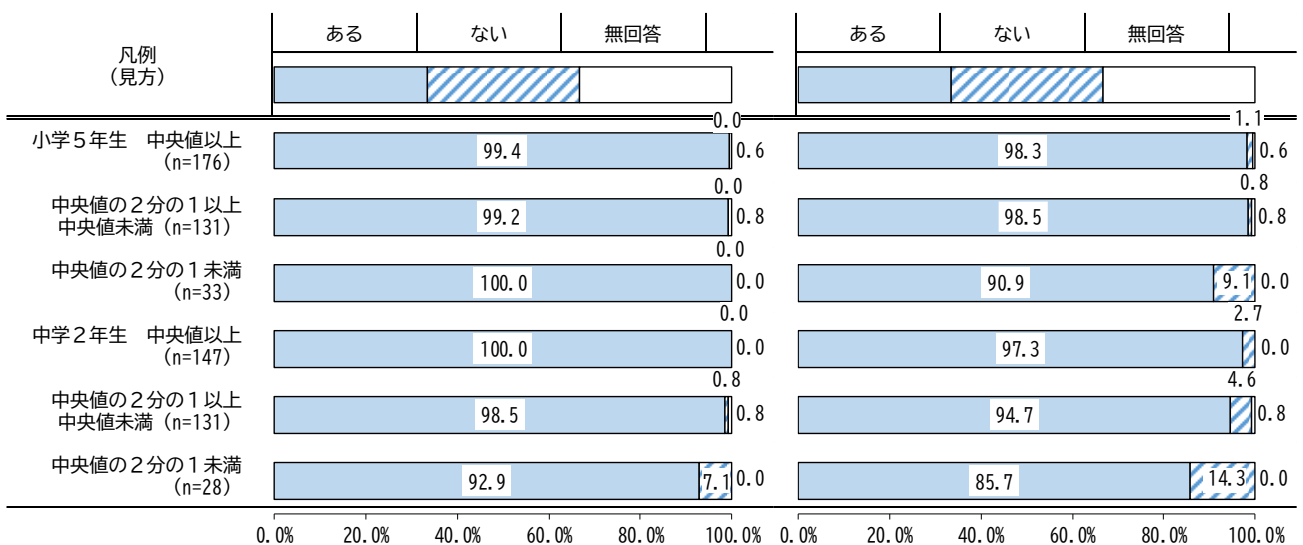
- 「ある」が最も多いのは「お誕生日のお祝い」で 99.1%、次いで「クリスマスプレゼントやお年玉」が 96.5%、「地域行事等への参加」が 83.9%となっています。
- 小学5年生、中学2年生ともに等価可処分所得による差が大きいのは、「キャンプ等の自然体験」、「スポーツ観戦や体験」、中学2年生で差が大きいのは「地域行事等への参加」「動物園、博物館等への訪問」となっています。

【子どもの体験機会】



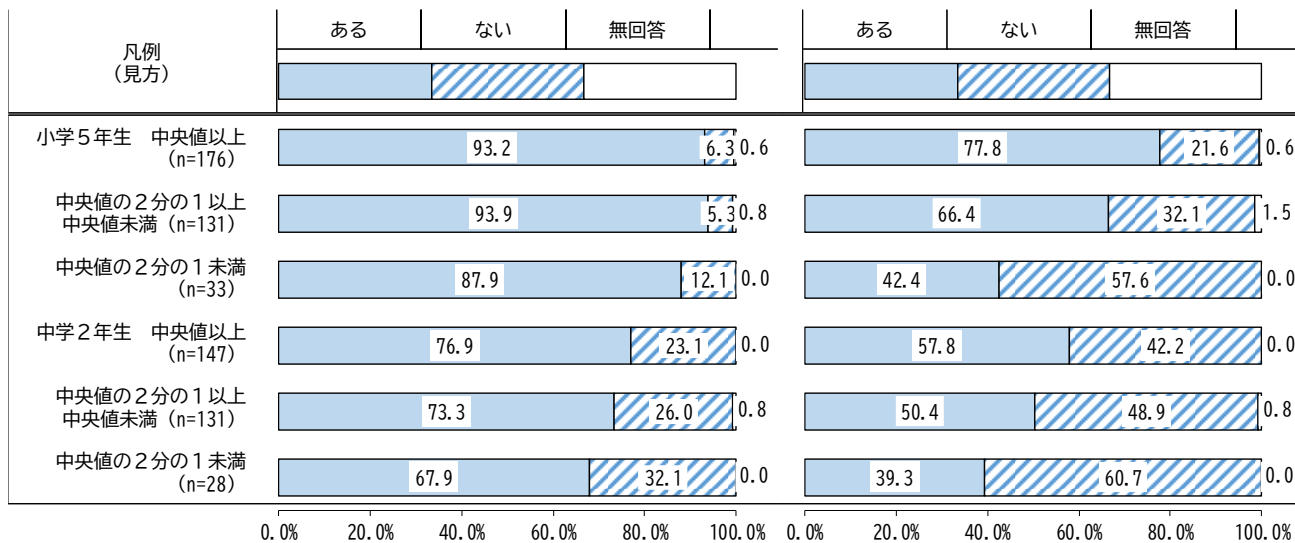
【お誕生日のお祝い】

【クリスマスプレゼントやお年玉】



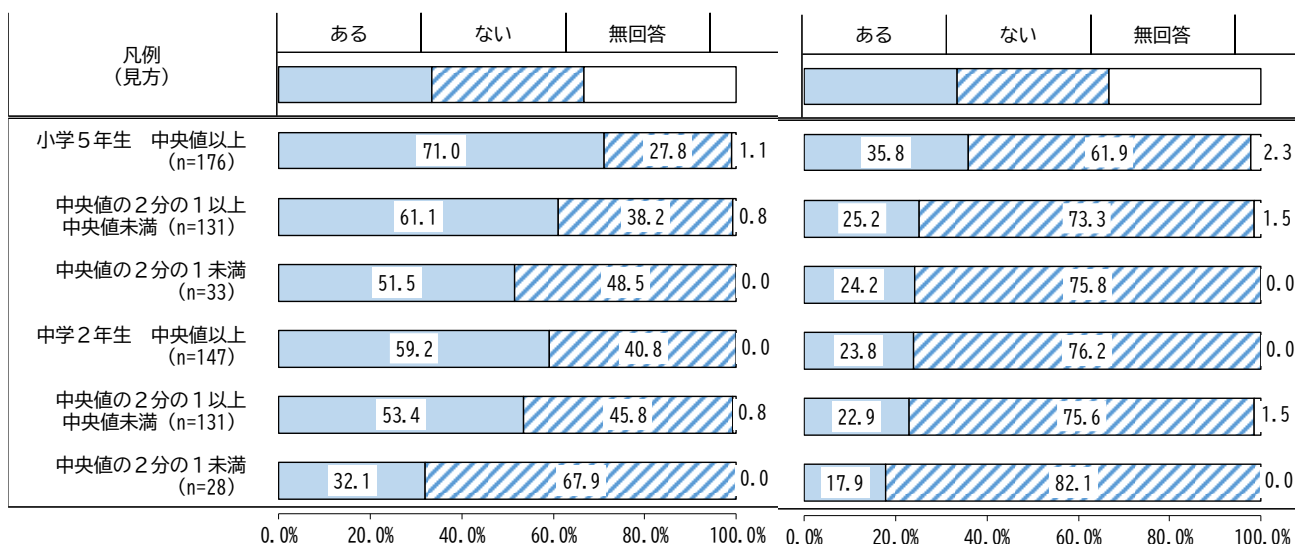
【地域行事等への参加】

【キャンプ等の自然体験】

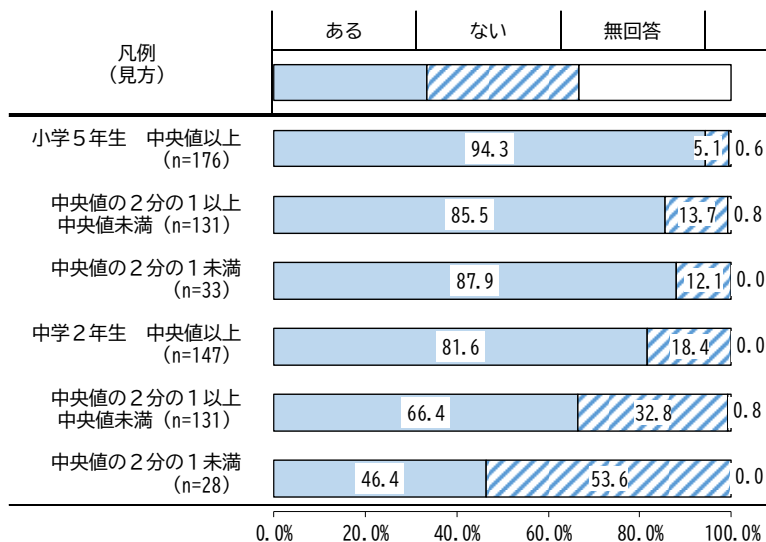


【スポーツ観戦や体験】

【農業体験等の社会体験】



【動物園、博物館等への訪問】

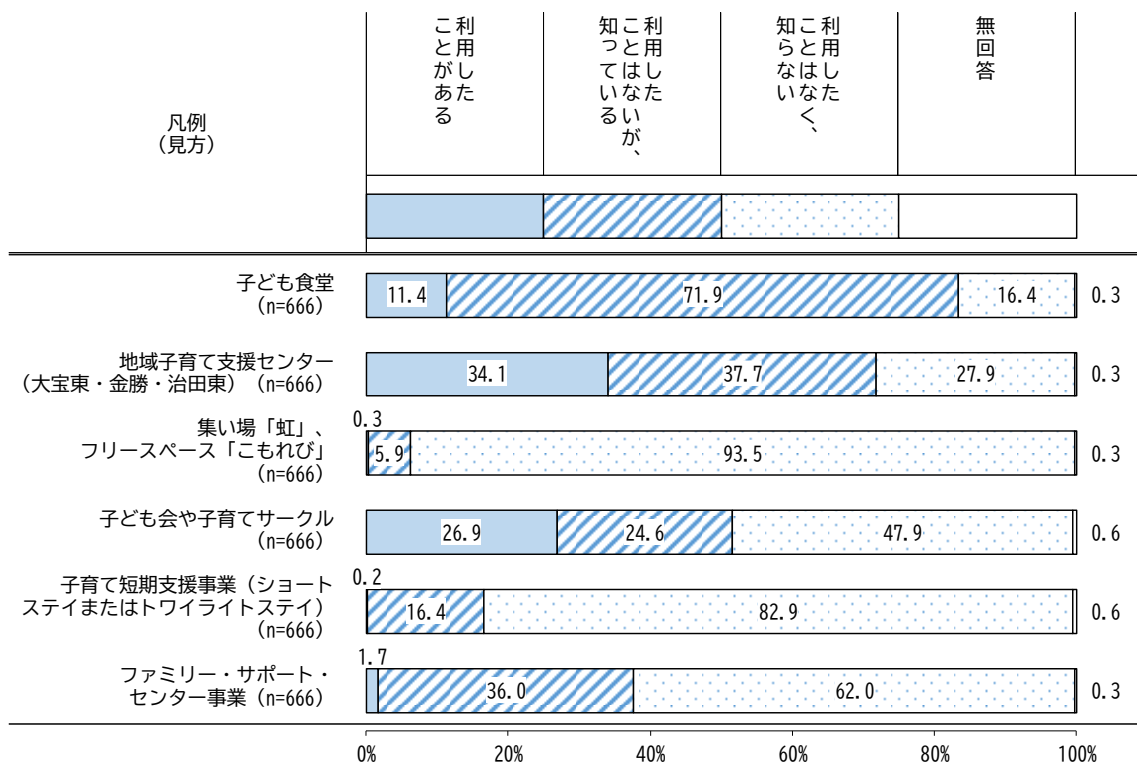


(3) 支援制度の利用について

問 次の支援制度などを利用したことはありますか。またそれらの支援制度などを知っていますか。(単数回答)

- 「利用したことがある」人が多いのは、地域子育て支援センター (34.1%)、子ども会や子育てサークル (26.9%) ですが、「知っている人」(「利用したことがある」と「利用したことはないが、知っている」の合計) が最も多いのは、子ども食堂 (83.3%) で、地域子育て支援センター (71.8%) よりも多くなっています。

【支援制度などの利用状況】

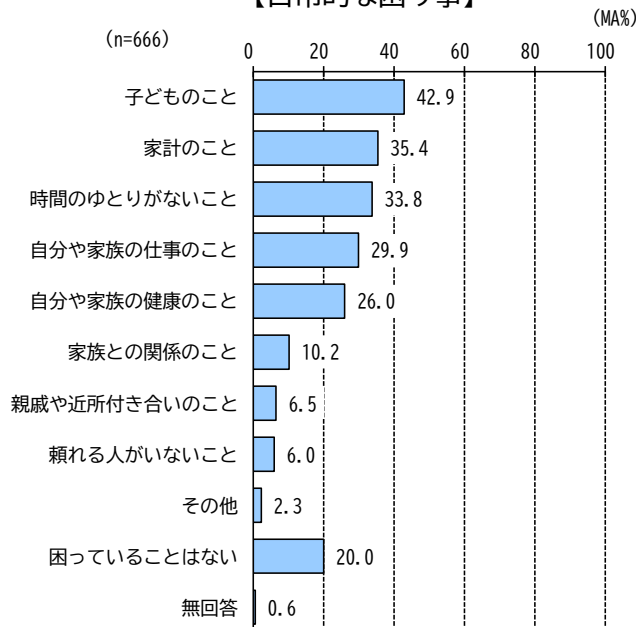


(4) 困り事について

問 あなたが日常的に困っていることは何ですか。(複数回答)

- 日常的な困り事について、「子どものこと」が 42.9%で最も多く、次いで「家計のこと」が 35.4%、「時間のゆとりがないこと」が 33.8%となっています。

【日常的な困り事】



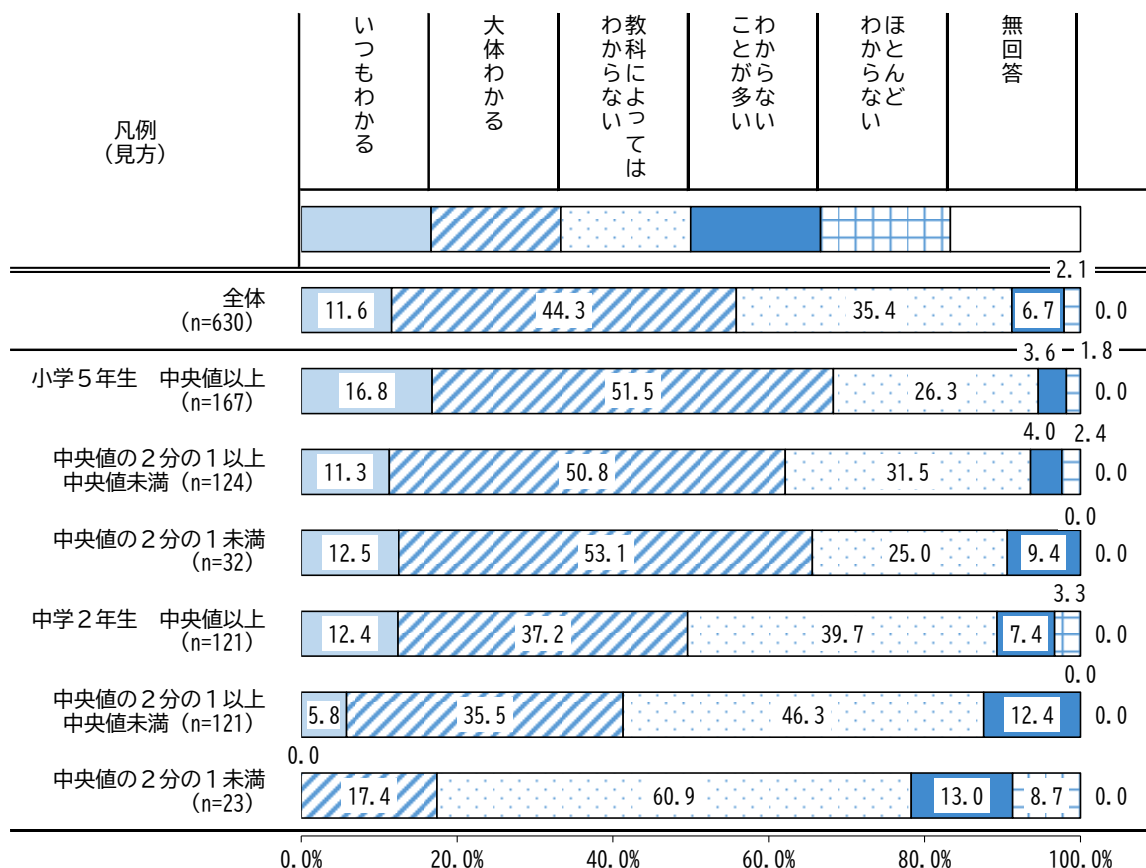
2. 子どもの生活状況アンケート（小学5年生・中学2年生）

（1）学習について

問 あなたは、学校の授業の内容がわからないことがありますか。（単数回答）

- 授業がわからないことについて、「大体わかる」が44.3%で最も多く、次いで「教科によってはわからない」が35.4%、「いつもわかる」が11.6%となっています。
- 「わからないことが多い」「ほとんどわからない」をあわせた“わからない人”は8.8%となっています。
- 小学5年生、中学2年生ともに等価可処分所得が低いほど“わからない人”が多くなる傾向がみられます。

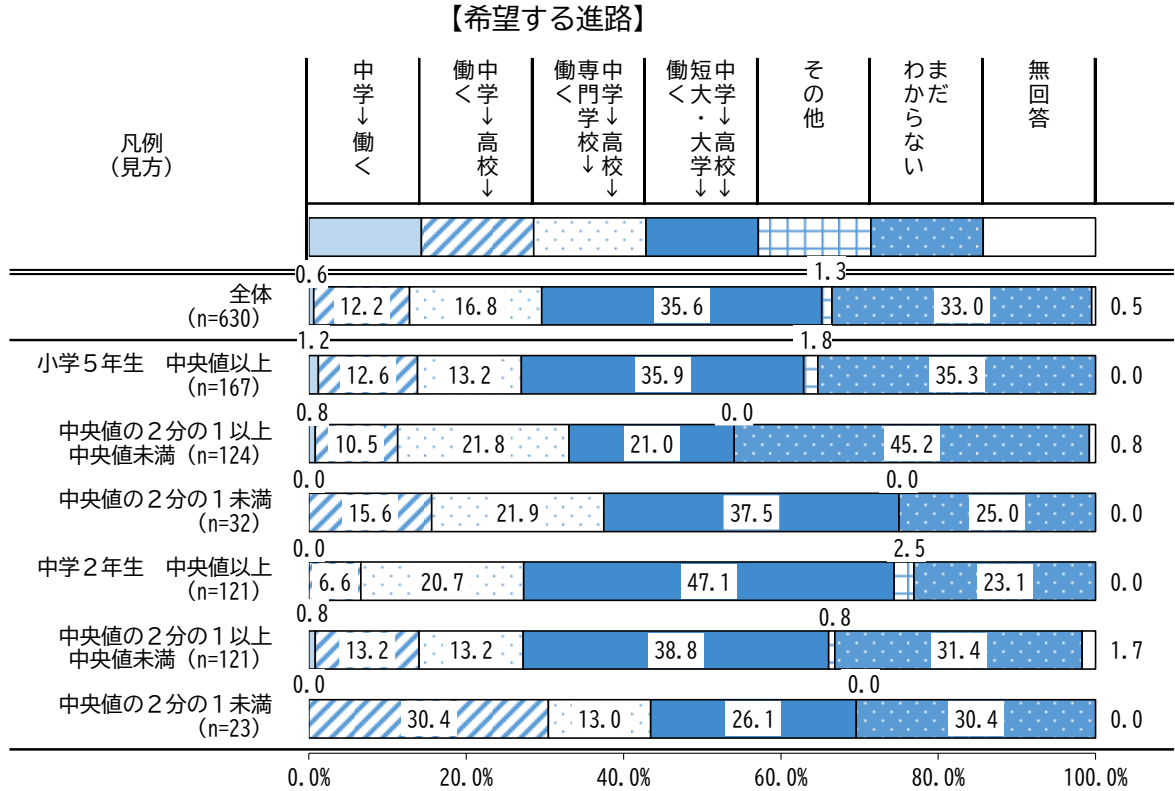
【授業がわからないこと】



(2) 将来の進路について

問 あなたは、将来、どのような進路を選びたいですか。(単数回答)

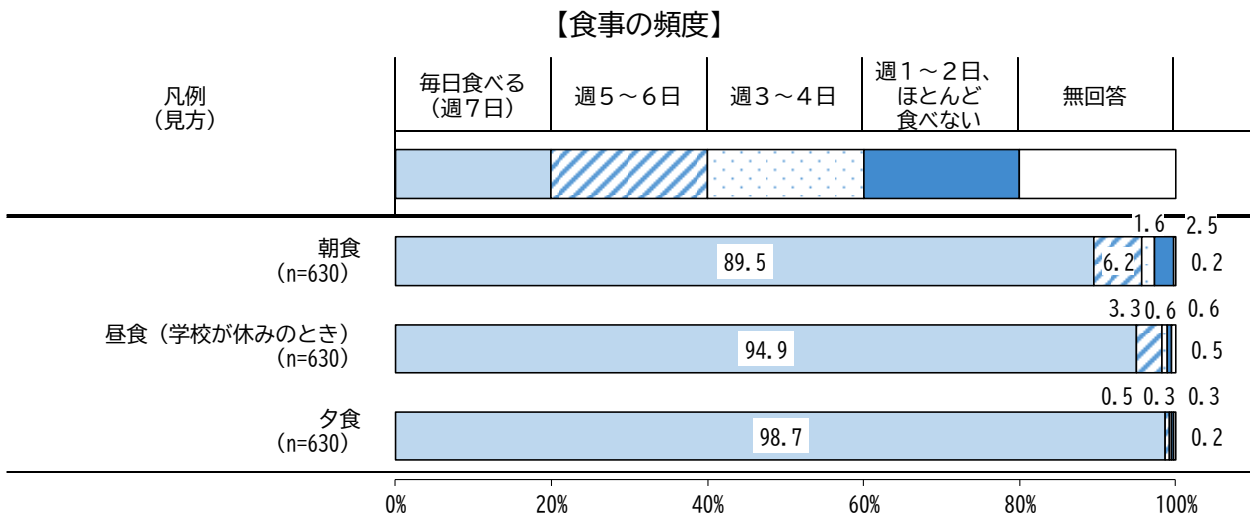
- 希望する進路では、「中学→高校→短大・大学→働く」が35.6%で最も多く、次いで「まだわからない」が33.0%、「中学→高校→専門学校→働く」が16.8%となっています。
- 中学2年生 中央値の2分の1未満では、「中学→高校→働く」(30.4%)が多く、大学まで進学を希望する人が少なくなっています。



(3) 生活習慣について

問 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(単数回答)

- 食事の頻度について、「毎日食べる(週7日)」は夕食が98.7%と多くなっている一方、朝食は89.5%と少なくなっています。
- 「週1~2日、ほとんど食べない」は、朝食が2.5%と昼食、夕食と比べて多くなっています。

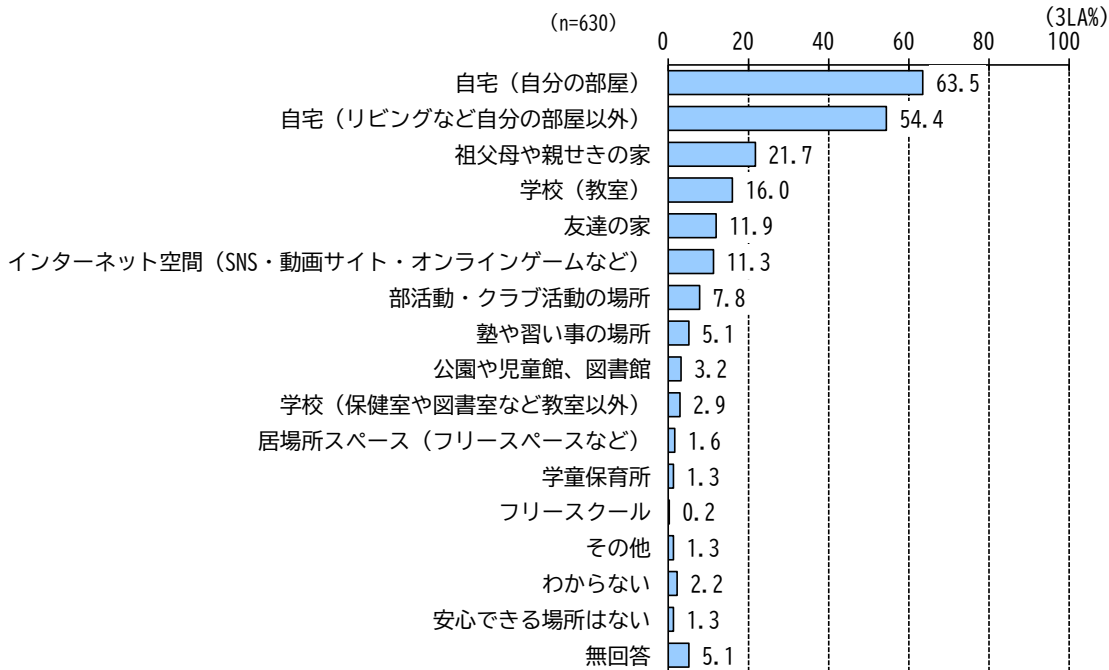


(4) 居場所について

問 あなたにとっての「安心できる場所」はどこですか。(複数回答3つまで)

- 安心できる場所は、「自宅(自分の部屋)」が63.5%で最も多く、次いで「自宅(リビングなど自分の部屋以外)」が54.4%、「祖父母や親せきの家」が21.7%となっています。

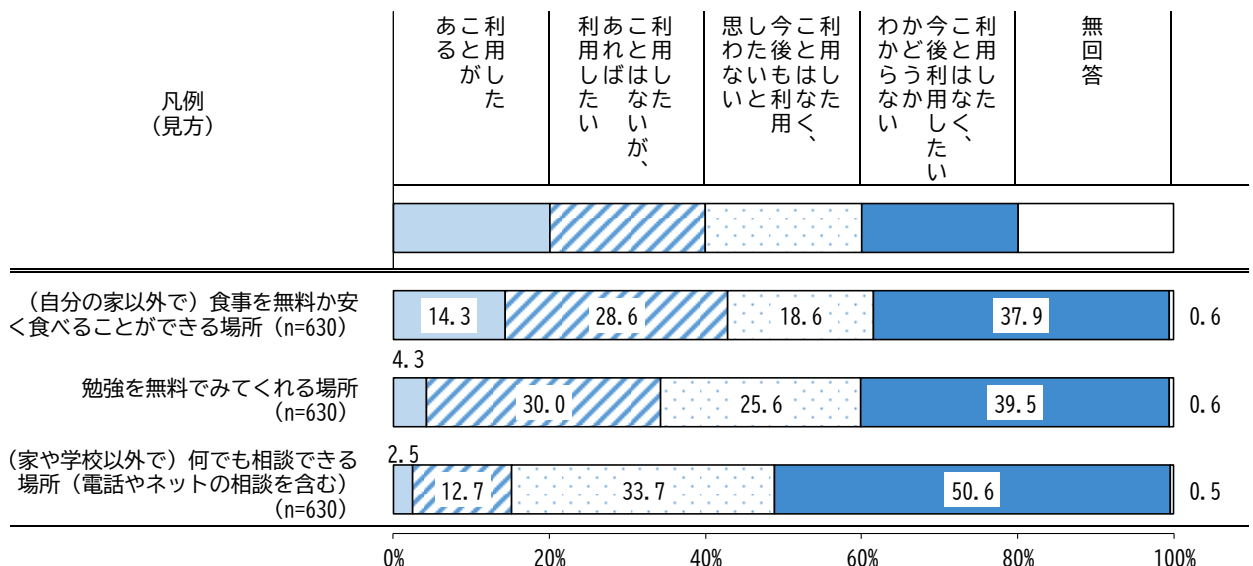
【安心できる場所】



問 あなたは、次のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いませんか。(単数回答)

- 食事を無料か安く食べられる場所は、「利用したことがある」が14.3%と他の場所に比べて多く、「利用したことはないが、あれば利用したい」を合わせると42.9%と多くなっています。
- 勉強を無料でみてくれる場所は、「利用したことはないが、あれば利用したい」が30.0%と他の場所に比べて多くなっています。
- 何でも相談できる場所は、利用経験も利用意向も他の場所に比べて少ない一方で、「利用したことはなく、今後も利用したいかどうかわからない」が50.6%と多くなっています。

【次の場所の利用状況】

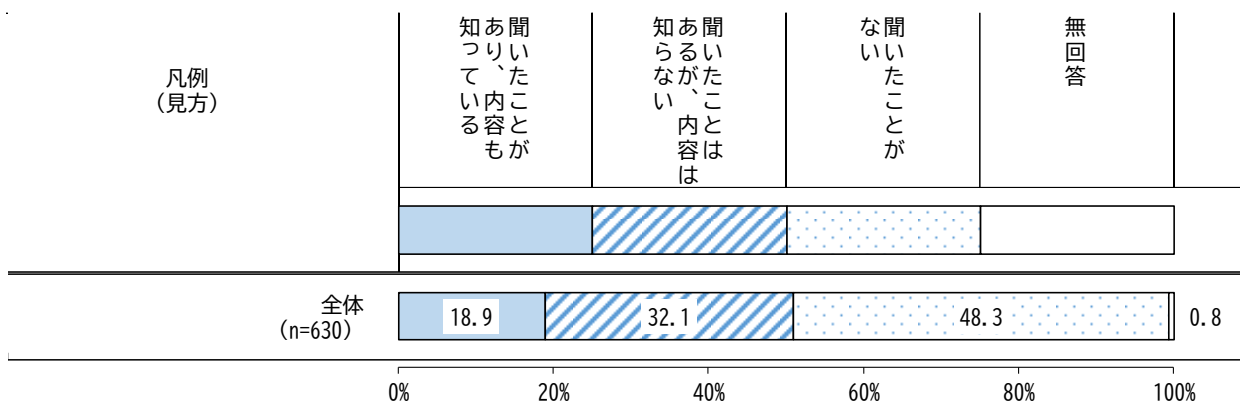


(5) 意見表明の権利について

問 あなたは、子どもが意見を表明する権利について知っていますか。(単数回答)

- 子どもが意見を表明する権利の認知度について、「聞いたことがない」が48.3%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」が32.1%、「聞いたことがあり、内容も知っている」が18.9%となっています。
- 51.0%は、子どもの意見表明権のことを知っていますが、内容まで知っているのは18.9%です。

【子どもが意見を表明する権利の認知度】

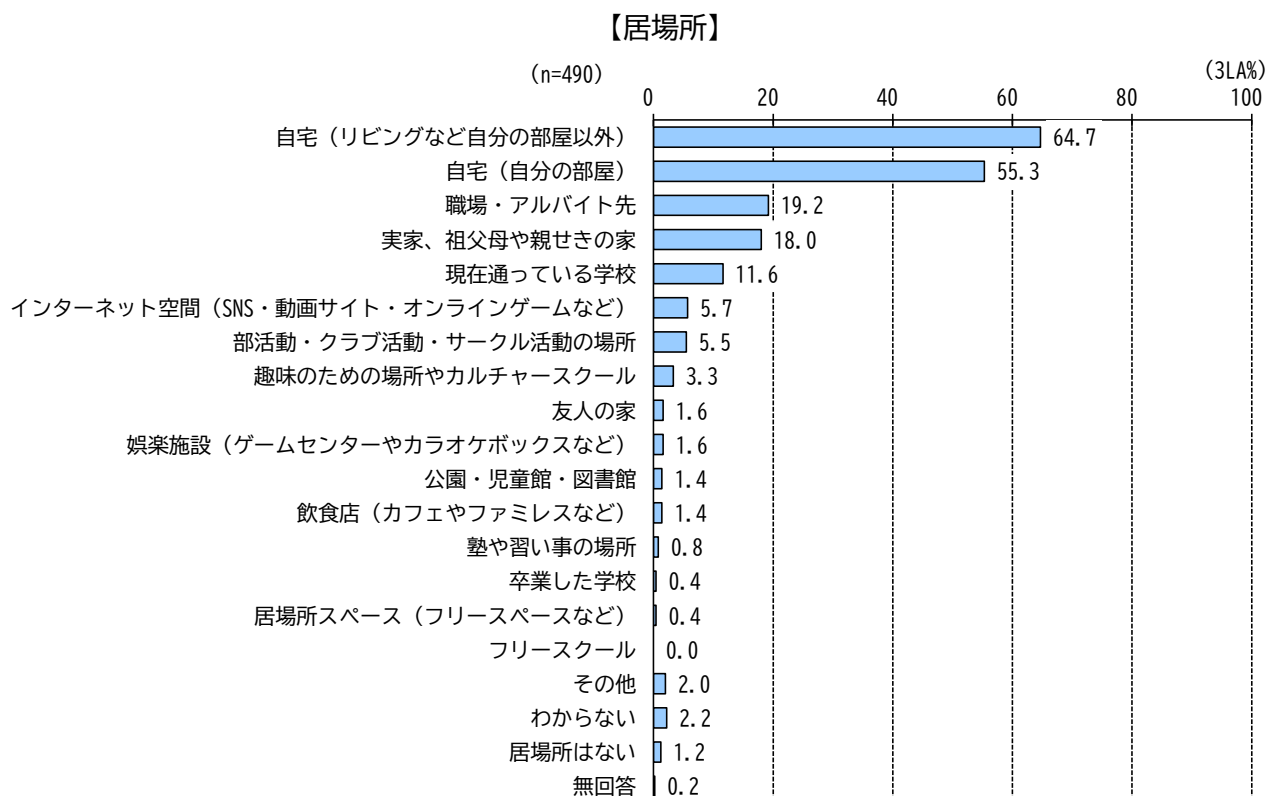


3. 子ども・若者意識調査（15～39歳までの方）

（1）居場所について

問 あなたにとって居場所はどこですか。（複数回答3つまで）

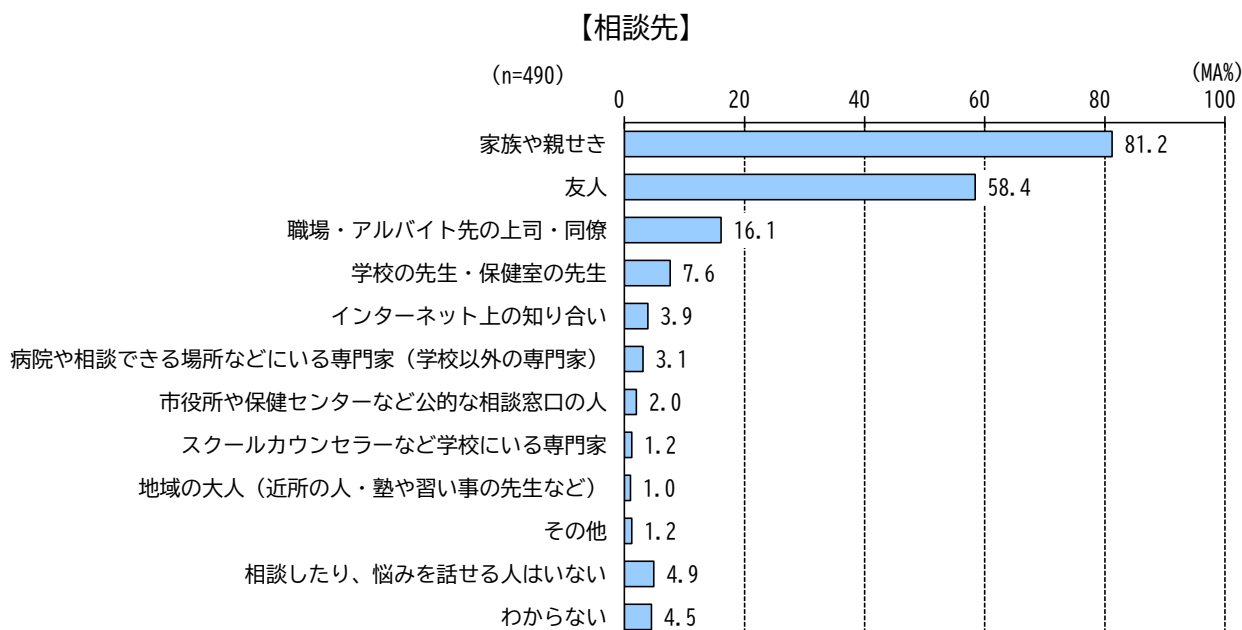
- 居場所について、「自宅（リビングなど自分の部屋以外）」が64.7%で最も多く、次いで「自宅（自分の部屋）」が55.3%、「職場・アルバイト先」が19.2%となっています。



（2）悩みの相談先について

問 あなたが、困ったときに相談したり、悩みを話せる人は誰ですか。（複数回答）

- 相談先について、「家族や親せき」が81.2%で最も多く、次いで「友人」が58.4%、「職場・アルバイト先の上司・同僚」が16.1%となっています。

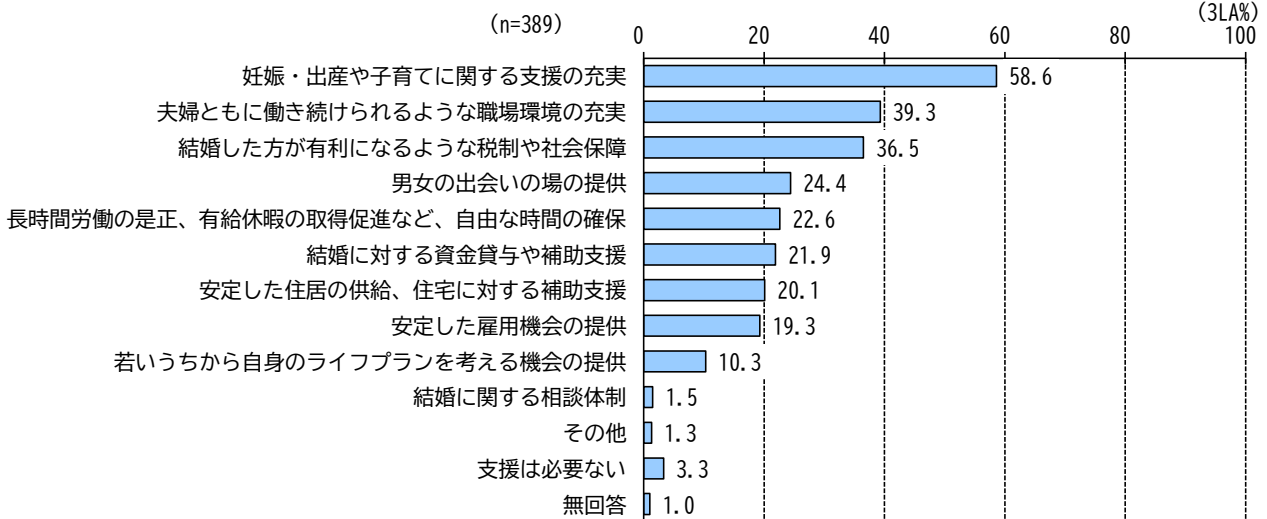


(3) 結婚・出産について

問 (すでに結婚している人、結婚の予定がある人、予定はないが結婚したい人への設問)
結婚がしやすいと思える環境をつくるには、どのようなサポートがあれば良いと考えますか。(複数回答3つまで)

● 結婚がしやすい環境づくりのためのサポートは、「妊娠・出産や子育てに関する支援の充実」が 58.6%で最も多く、次いで「夫婦ともに働き続けられるような職場環境の充実」が 39.3%、「結婚した方が有利になるような税制や社会保障」が 36.5%となっています。

【結婚がしやすい環境づくりのためのサポート】

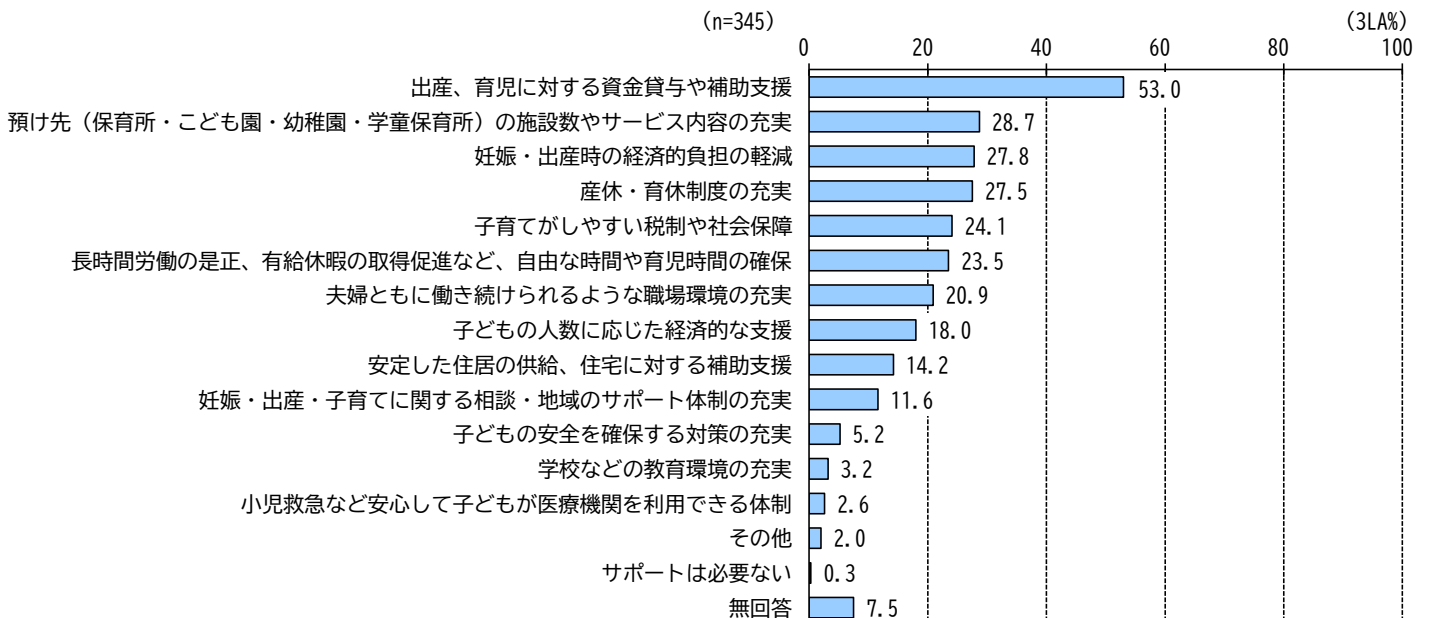


問 (自分の子どもがいてほしいと思う人への設問)

妊娠・出産や子育てがしやすいと思える環境をつくるには、どのようなサポートがあれば良いと考えますか。(複数回答3つまで)

● 妊娠・出産や子育てしやすい環境づくりのためのサポートについて、「出産、育児に対する資金貸与や補助支援」が 53.0%で最も多く、次いで「預け先（保育所・こども園・幼稚園・学童保育所）の施設数やサービス内容の充実」が 28.7%、「妊娠・出産時の経済的負担の軽減」が 27.8%となっています。

【妊娠・出産や子育てしやすい環境づくりのためのサポート】

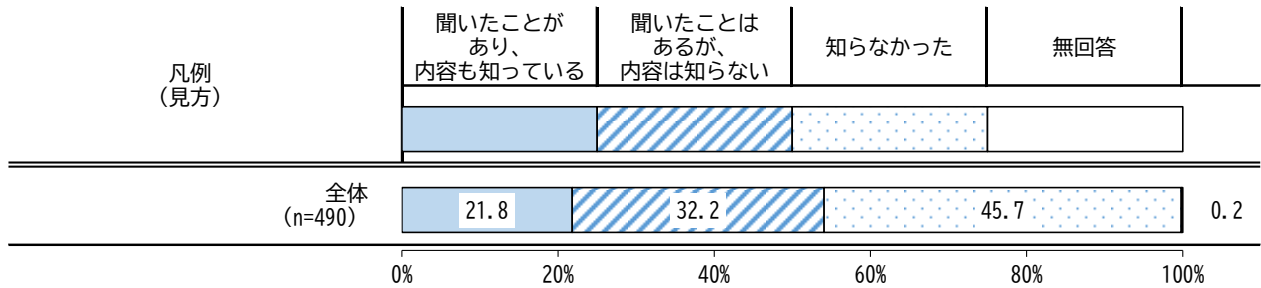


(4) 意見表明の権利について

問 あなたは、子どもが意見を表明する権利について知っていますか。(単数回答)

- 子どもが意見を表明する権利について、「知らなかった」が 45.7%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」が 32.2%、「聞いたことがあり、内容も知っている」が 21.8%となっています。
- 54.0%は、子どもの意見表明権のことを知っていますが、内容まで知っているのは 21.8%です。

【子どもが意見を表明する権利の認知度】



(5) 栗東市の施策について

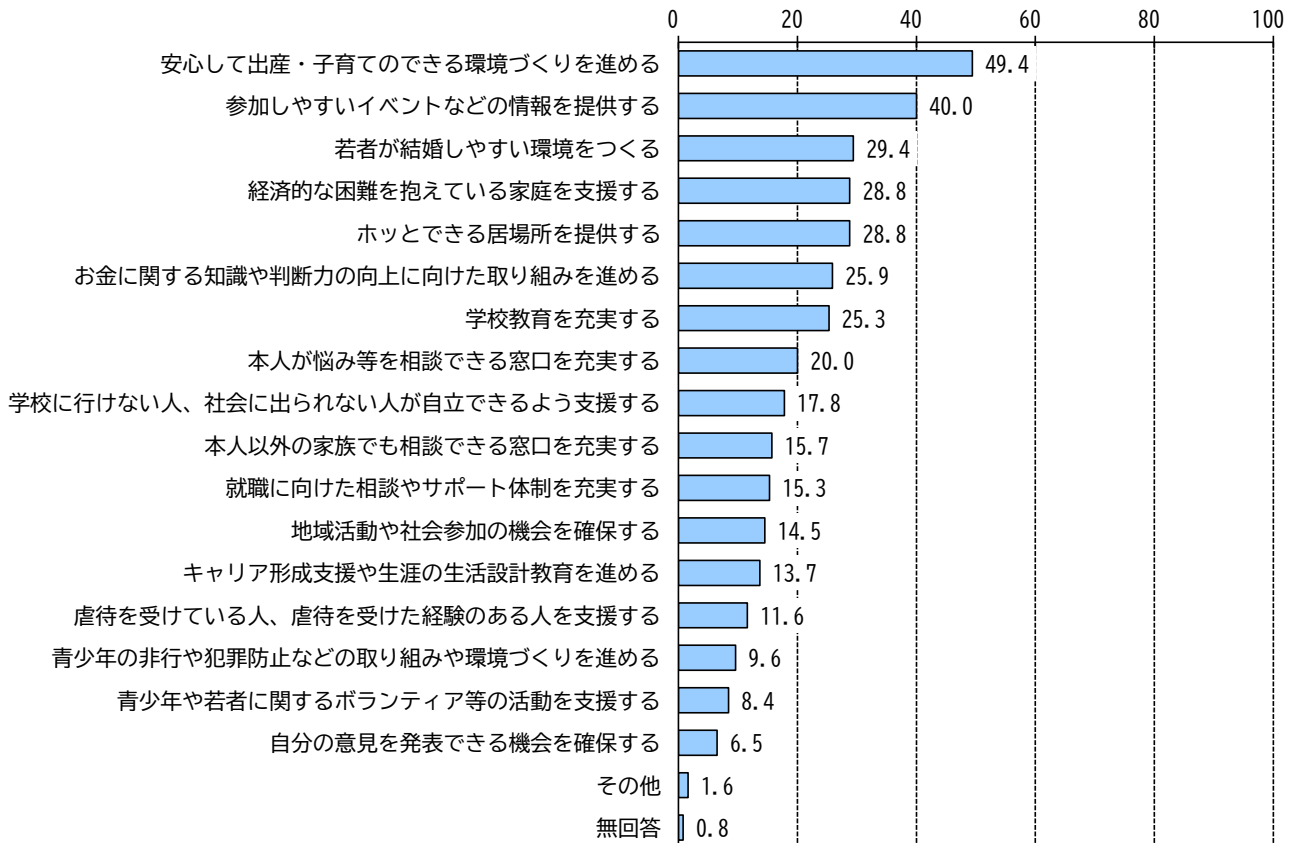
問 あなたは、栗東市が取り組む若者の施策にどんなことを望みますか。(複数回答)

- 栗東市の若者施策への要望では、「安心して出産・子育てのできる環境づくりを進める」が 49.4%で最も多く、次いで「参加しやすいイベントなどの情報を提供する」が 40.0%、「若者が結婚しやすい環境をつくる」が 29.4%となっています。

【栗東市の若者施策への要望】

(n=490)

(MA%)



栗東市子ども・若者に関するアンケート調査結果報告書概要版
 発行：令和8（2026）年3月 栗東市 こども家庭局 子育て支援課
 〒520-3088 滋賀県栗東市安養寺一丁目13番33号
 TEL：077-551-0138 FAX：077-552-9320